

NPO 法人

全日本語りネットワークの ニュース

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3 国分寺マンション B-03A

(Fax) 0237-67-7001 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) http://japankatarinet.jp/

2022. 12. 4 発行

第 15 回全日本語りの祭り in 加賀を終えて

加賀実行委員長 野間成之

終わってみれば本当にあっという間でした。三日間時間が飛ぶように過ぎていきました。

何だか夢を見ているような気持でした。始まるまでは「本当に開催できるのだろうか。コロナが収まりを見せないのに」と心配ばかりしていました。ところが開会式に集まって来られた 200 人の皆さん方の顔が生き生きとしていました。わたしの心配など小さなものでした。何しろ 4 年ぶりの祭りですから、皆さんの意気込みが違っていました。どんなに待ち焦がれておられたかが伝わってきました。いろんな方から「よくぞ祭りを開いてくださいました。」と声をかけていただきました。本来ならば 2020 年 10 月に開催予定でした。理事会からは何としても加賀で開きたいと熱い思いを持ち続けて下さいました。参加者と理事会との思いが見事に合致した祭りになりました。

プログラムの表紙を見て「加賀」らしさが一杯で優しい仕上がりになっていてうれしかったです。今回わたしも開催者側の一人として会議やメールのやり取りに参加しました。理事の方々の妥協を許さない真摯な態度に圧倒されてしまいました。「祭り」を開催するためにはその準備段階でのきめ細かな作業がこんなにも必要なかと圧倒されました。100 点満点の「祭り」はあり得ませんが、できる限りそれに近づきたいとの思いが詰め込まれているのでした。

わたしも会場のホテルに下見もかねて 2 回行きました。しかし本番になると「分科会会場は 2 階だったかな、それとも 3 階だったかな」「え〜っと、ラフォーレにはどこから行けばいいのだったかな。1 階だから 2 階のロビーから下りて行けば、あれれれれ、行き止まりだ。もう一度上まで行って、そうかわからないときはフロントで聞けばいいのだ」もうそんなことの繰り返しでした。現地の加賀実行委員としてはお寒い状態でした。そのおかげで迷っておられる方には「このエレベーターで行ってください」「分科会場にはここをまっすぐに行って突き当りを右に」とお教えすることができました。

今回の「祭り」のテーマは「語りと紙芝居のコラボ」でした。そのおかげで紙芝居の出番が今までよりも大幅に増えました。お互いの良さ、違いなどがはっきり分かって分科会の中身も豊かになったのではないのでしょうか。次回もこの流れが続いてくれますように。

4 年前の那須高原での閉会式に「のまひょうしぎの会」として 4 人が登壇して次回開催地からのあいさつをさせていただきました。今回は現地スタッフとして赤い T シャツを着た 10 人が色々とお世話させていただきました。少しはお役に立てたかなと思っています。

皆さんご無事でお家までお帰りになりましたでしょうか。何事もなく無事終えることができたこと皆様とともに喜びたいです。「また、逢う日まで〜」ますますお元気で活躍下さい。ありがとうございました。

